

## ■ 6 自己PRカードについて

都立高校の推薦入試においては、自己PRカードを入学願書の受付日に提出することが必須です。

自己PRカードに書く内容は、次の3つです。

- ・ 志望理由について
- ・ 中学校生活の中で得たことについて
- ・ 高等学校卒業後の進路について

これらは面接で必ず質問されますから、自己PRカードと面接はセットで考えなければいけません。

「自己PRカードは得点化しない」とされています。しかしながら、自己PRカードに基づいて面接を行う以上、自己PRカードは面接の得点に大きく影響することは間違いありません。深く考えずに雑に書いたり、嘘を書いたりすれば、突っ込んだ質問をされてポロが出ることは容易に想像できることです。当然、願書受付日の直前になって慌てて自己PRカードを書くようでは、推薦入試合格は極めて困難です。

したがって、自己PRカードは面接を見据えてしっかりと時間をかけて作成しなければいけません。以下の手順に沿って、作成していきましょう。

### ◎ 6 - 1 自己PRカードを正しく理解する

自己PRカードと面接で話す内容との関係を正しく理解するには、まず木を想像してみましょう。

木には「幹」があって、そこから「枝や葉」が伸びています。土を掘れば「根」があります。

- ・ 幹＝自己PRカード
- ・ 枝や葉＝面接で話す内容
- ・ 根＝受検者の考え方や人生観

と考えるとイメージしやすいと思います。

外側から「根」は見えませんが、「幹」の太さや「枝や葉」の伸び具合を見ると、地中の「根」の様子を推測することができます。また、「根」がなければ「幹」は育ちませんし、「幹」がなければ「枝や葉」は伸びません。すべてが密接に絡んでいるのです。

したがって、「幹＝自己PRカード」と「枝や葉＝面接で話す内容」を通じて、「根＝受検者の考え方や人生観」を面接官に知ってもらうということを意識しておいてください。また、自己PRカードの作成がそのまま面接の準備につながるということも、常に念頭に置いておきましょう。

もちろん、自己PRカードに書いていない内容も質問されますが、まずは自己PRカードに書いた内容を土台として、理由や具体的な説明を面接で話すことが基本となります。